

多摩産材を使用した「バターナイフ」づくり体験！

令和7年10月19日（日）、東京観光情報センター多摩が入居するエキュート立川にて、八王子観光コンベンション協会との共同企画によるワークショップ「バターナイフづくり」を開催しました。

当日は、八王子現代家具工芸学校代表の伊藤様を講師にお迎えし、30名の方に木のぬくもりを感じながら、世界に一つだけのバターナイフづくりを体験していただきました。

3種類の紙やすりを使用してバターナイフの形を整えた後は、仕上げにクルミ油でコーティングし完成です。完成した、オリジナルのバターナイフを手にした参加者からは「楽しかった」というお声を沢山頂戴しました。また、ワークショップ翌日からは、ご自宅でも体験できるオンラインキットを100名様分ご用意し、同センターで配布したところ、わずか2週間で配布終了となる盛況ぶりでした。



多摩オンラインツアー第2弾 多摩で生まれる“ものづくり”の現場を見に行こう！

令和7年12月6日（土）、「多摩オンラインツアー第2弾 多摩で生まれる“ものづくり”の現場を見に行こう！」を開催しました。今回は東京都庁内にある、都内の特産品を集めたギフトショップ「TOKYO GIFTS 62」でも取り扱う、多摩エリアの魅力的な商品を生み出す“ものづくり”の現場を3か所ご紹介しました。

全国から計52アカウントのお申込みをいただき、参加者からは職人の高度な技術に感嘆する声や、実際に体験ツアーへ参加してみたい、といった前向きな感想が寄せられました。オンライン上での体験を通じて、多摩地域のものづくりの魅力を感じていただくとともに、現地訪問への関心を高めるきっかけとなるツアーとなりました。

アーカイブ動画 → [こちらをクリック！](#)



2025.12.6(土) 13:00-14:40

参加費無料!

◆◆東京都臨時観光案内所 出展のご報告◆◆

都内で開催される様々なイベントにおいて臨時観光案内所を出展し、来場者の皆さまへ東京観光の魅力を発信しています。10月～12月に開催した3つのイベントについて、その様子をご紹介します。



令和7年 10月24-26日（金-日） 『東京味わいフェスタ2025 TASTE of TOKYO』

“東京産”の食材を使った料理を味わおう！をコンセプトとした「東京味わいフェスタ2025 TASTE of TOKYO」に臨時観光案内所を出展いたしました。本イベントは都内4か所で開催され、当案内所は東京駅からほど近い丸の内エリアに出展しました。期間中はあいにく雨模様が続いたものの、東京駅周辺や皇居を訪れる方を中心に、日本人観光客やインバウンド旅行者まで、合計約800名の方にお立ち寄りいただきました。案内所では、都内の観光スポットやモデルルート、交通アクセスなど、東京観光に関する幅広い情報をご案内しました。



令和7年 11月15日-16日（土日） 『第11回都立動物園 アフリカフェア in 多摩動物公園』



多摩動物公園にて、アフリカ各国の自然や文化、観光、野生動物の現状や保全活動などを紹介し、アフリカ各国との友好を深めるきっかけとなることを目的とした、「第11回都立動物園アフリカフェア」が開催されました。毎年多くの来園者でにぎわう本イベントにあわせ、臨時観光案内所を出展いたしました。

両日とも晴天に恵まれ、ブースには親子連れを中心に2日間で合計約900名の方にお立ち寄りいただきました。案内所に展示していた、東京おみやげの「江戸木目込みの招き猫」は来園者の目を引き、販売場所に関する質問が多く寄せられるなど、高い注目を集めました。



令和7年 11月15日-26日（12日間） 『東京デフリンピック2025』

東京デフリンピック2025大会の開催に伴い、東京を訪れる選手・メディア・一般来場者等が集積する大会運営拠点である「デフリンピックスクエア」に臨時観光案内所を出展いたしました。本イベントでは観光案内スタッフに加え、日本手話・国際手話通訳者を配置し、聴覚障害の有無を問わず、多くの来場者に東京観光の魅力をPRし、合計来場者数は4,200名以上となりました。特に、新たに設置したオリジナルスタンプやスタンプ帳、だるま型の折り紙は大変人気となり、「口コミで知りスタンプを押しに来た」という方もいらっしゃる程の大盛況となりました。



賛助会員限定ページに他の記事等も限定コンテンツを掲載しております。是非ご活用ください。
* パスワードがご不明の場合には、賛助会員担当までメールにてお問い合わせください。